

太陽電鍍工業 株式会社

あらゆる金属に応える

三価クロメート

納期 相談
企画 力
自信 有
コスト 相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量 産
対 応

業務内容 幅広い金属とサイズの表面処理を実現

六価クロムの使用規制にいち早く対応し、平成16年、環境負荷の少ない三価クロメート専用の工場を新設した太陽電鍍工業。三価クロメート、三価黒色クロメート等、環境にやさしい亜鉛メッキ表面処理を手掛けている。

亜鉛以外にも金、銀、銅、ニッケル、錫、クロム等、あらゆる金属を網羅し、多種多様なサイズに対応。M1mmの小型部品からM100mmの大型部品まで、さらに面積の大きなものから小さなものまで処理できる。これだけ幅広い加工が可能なのは、自社ではできないものを協力会社で外注加工するネットワークを構築しているからだ。

強み 外注ネットワークを駆使し 個々の専門性を活かす

自動車用部品は異形が多く、大きさも非常に多岐にわたる。狙った品質を実現するため、部品の素材、形状、サイズに合わせて薬品濃度やバランスを細かく工夫しなければならない。

「それなら、当社がワンストップ窓口となり取引先から加工をまとめて請け負い、部品ごとにそれを得意とする外注先に依頼した方が、高品質を保てます」と福田社長。現在、20〜30社と協力関係を築いており、同社と同レベルの品質を確保できる会社と手を組むことで、不良率の低減につながっている。

生産管理 独自開発し導入

生産管理システムを

自動車メーカーから要求されるシビアなトルク値を考慮に入れた生産管理

技術を有していることも同社の強みの一つといえる。加工立ち上げ当初は自動車メーカーとタイアップし、トルク、防食性、耐久性がアップする薬品の調合や濃度設定に40〜50回トライし、ノウハウを確立。こうした技術を「標準化」することで、品質への信頼を高める努力も怠らない。

同社は3年前からコンピュータによるオリジナル生産管理システムを導入。書面で管理する同業者が多い中、1000を超える部品の生産管理情報をすべてデータベース化し、クオリティの高い生産を維持している。

今後の展望 環境規格対応は万全 タイアップにも力を入れない

ROHS、REACH、SVHC等の環境規格にももちろん対応可能な同社。社内に分析機器を揃えており、品質データや環境関連データ等も測定・提出できる。

これから取り組みたいのは、研究機関や他企業と連携した新しいものづくり。

きめ細かい表面処理技術の蓄積を活かし、今あるものに付加価値をつけた製品等を手掛けた意図だ。具体的なことは現在模索中だが、できれば教社と協同し、新しい分野を切り開きたいと考えている。



蛍光X線膜厚測定器

COMPANY PROFILE

太陽電鍍工業株式会社

大阪 24

当社の歴史

建築部材の表面処理加工からスタートしました。現在は、厳しい品質を求められる自動車分野の表面処理が7割を占めています。六価クロメートに比べて三価クロメートは生産管理が厳しいですが、他社が六価と三価を併用する中、当社は三価専門の工場を設立。それが奏功し、高品質を求める取引先様から選んでいただいています。今後は海外にも目を向けていきたいですね。

「できない」と言ったことはない。できなければ、できる会社を紹介しています。

代表取締役 福田 壮吉さん



■主な事業内容

亜鉛メッキの表面処理加工 等

■主な取引先（納入先）

自動車（部品）メーカー、電機（重電、弱電）メーカー、農機具メーカー、建築メーカー 等

住 所／〒577-0033 東大阪市御厨東 2-14-16
TEL／06-6787-2317
FAX／06-6787-2327
創 業／昭和54年3月
設 立／平成16年7月
資本金／1,000万円
従業員／12名

<http://www.16.plala.or.jp/taiyodento/>